おおみや教会通信　2025.5 月号　2025.5.18 発行

Newsletter of Omiya Catholic Church

おおみや教会通信

復活祭の翌日に教皇フランシスコが帰天されたことは大きな驚きでした。きっと最速で天国に上げられ、イエス様と顔と顔を合わせて、この世での苦労を労われていらっしゃると世界中の人々が確信したでしょう。そして新しい教皇レオ 14 世が誕生しました。これからの歩みのために共に祈りましょう。

2025 年聖年　私の巡礼記（１）

～長崎教区巡礼の旅～

聖年の巡礼として、長崎教区の巡礼に行ってきました。

まずは長崎市近郊の教会を、初日は市電を使って、２日目はレンタカーを借りて、巡礼指定教会８つを含む９つの教会を訪れました。４日目に高速船で上五島にわたり、レンタカーを借りて、巡礼指定教会４つを含む８つの教会を訪れました。朝ミサは浦上教会、大浦教会、青砂ヶ浦教会（２日続けて）で与ることができ、教皇フランシスコが帰天されたことは、浦上教会の朝ミサで知りました。青砂ケ浦教会ではゆるしの秘跡を２日目のミサ前に受けることができました。最終日、上五島の頭が島天主堂の誰もいない聖堂で、海風を感じながらロザリオの祈りをささげた時の心の平安をいつまでも大切にしたいと思っています。

もしも聖年の免償を頂けるのであれば､煉獄にいる父と母にささげたいと願っています。

白岡　河本

≪青年会だより≫

今年も毎年恒例の活動であるエッグハントで子供たちへのプレゼントを用意しました。
準備が大変でしたが、無事にプレゼントを渡すことができました！

内容【2025 年聖年　私の巡礼記(1)】【青年会だより】
【信徒委員会】【典礼部】４つのキリアーレ【営繕部】草取り【地区部会】感謝の集い
【成人養成部】希望は欺かない【復活祭パーティー係】【受洗おめでとうございます】
【献金についてのお願い（財務部)】【サモア～主によばれて（３９)】

＜信徒委員会・各部からのお知らせ＞

＜典礼部より＞

＊4 つのキリアーレ（「いつくしみの賛歌」「栄光の賛歌」「感謝の賛歌」「平和の賛歌」）と主の祈りの曲について

昨年より中央協議会の「全国版」A を歌ってきましたが、復活節第二主日（4 月 27 日）より聖霊降臨の主日（6 月 8 日）までは塩田泉神父様の曲に戻します。

また、三位一体の主日（6 月 15 日）以降は、中央協議会の「全国版」B を歌うことになりました。

当面 B を歌い、慣れてきたころに C を歌うことにし、最終的には ABC いずれも歌うことができることを目指します。慣れるまで戸惑うかと思いますが、ご協力をお願いします。

キリアーレは塩田神父様のバージョンは 6/8 まで、6/15 からは B です。

＜営繕部より＞

聖堂・司祭館の周りの草取りを 5 月 25 日ミサ後に行います。（雨天延期）

例年の通り短時間で終了しますので、できるだけ多くの方のご協力をお願いします。

＜地区部より＞

感謝の集いを 9 月 14 日に予定しています。詳細は追ってご案内します。

＜成人養成部より＞

＊教皇フランシスコの聖年についての大勅書「希望は欺かない」を一緒に読みませんか？第二日曜日（次回は 5 月 12 日）ミサ前（10：00～）行います。お待ちしています。

＊「希望は欺かない」については受付まで

＊聖年のロゴにみんなの祈りを貼り付けましょう。

受付にカラフルな紙を置きました。各自（白っぽい方に）祈りや希望についての言葉を書いて箱にお入れください。見られたくない方は縦に 2 つに折り、糊で貼りつけても結構です。後日、ロビーにある大きなロゴのポスターに皆様の祈りを小さく丸めて貼り付けます。また、帰天された前教皇フランシスコへの祈りや、新しい教皇レオ 14 世への祈りもご自由にお書きください。

＜復活祭パーティー係より＞

ご復活おめでとうございます。

復活祭ミサ後のパーティーは多くの方たちのご協力のもと、盛況のうちに終えることが出来ましたことを感謝いたします。

当日は、普段はお一人で教会に来られない方でもご家族の送迎によって来られた方もおられ、「久しぶりに皆さんにお会い出来てとても嬉しかった」また、「いつもミサでお会いしてもお話が出来ない方たちとご一緒に食事をする時間が持ててとても良かった」等の声が聞かれました。

後片付けも多くの方たちのご協力により、スムーズに終えることが出来ました。小さな子供達の手伝い、布巾等の洗い物を持ち帰ってくださった方々、使用済みの紙皿等の持ち帰り・・・等々、皆様の多大なご協力に心より感謝いたします。

今回はお料理を提供してくださる所にお願いしまして、話し合いの中でこちらの要望をお聞きくださり、また予算の中で生活クラブ生協の安心な材料を使用され、心のこもったお料理を準備してくださいました。埼玉県の施設の中で、県からの補助を受けられ、非営利組織で障がいを持たれた方たちとの関わりも大切にされている所です。

教会も働き手が少なくなってきている中で、とても助かりました。

また、今回もペットボトルと袋菓子のご寄付を頂戴しまして有難うございました。いつも大変助かっております。特に今回は袋菓子のご寄付が沢山集まりましたので、残念ながらパーティーでお出しできなかったものも沢山ありました。でも、毎回パーティーで残ったお菓子は、ウエルカムグループにお願いしまして、毎週ミサ後に皆様にお出しいただいておりますので、今回もこれから皆様の元にお届けいただけることと思います。

今後とも、皆様のご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

＊ クリスマスとご復活祭のパーティーの準備は、現在下記のメンバーが中心になって行っておりますが、楽しいパーティーを開くため、ご一緒に中心メンバーとして働いていただける方を募集しております。皆、それぞれが出来ることをして、協力し合ってやっております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

感謝のうちに

復活祭パーティー準備係　齋藤・佐伯・藤本・工藤・伊藤

＜受洗おめでとうございます＞

４月 19 日復活徹夜祭のミサで永妻さんと都築さんの洗礼式がありました。

また大宮教会に仲間が増えることはとても喜ばしいことです。早速お二人から洗礼の感想の言葉を戴きました。

この度、洗礼を受けました永妻と申します。この日を迎えることができたこと、またこれまで私の歩みに関わってくださったすべての方々に、感謝申し上げます。

カトリックとの出会いは、昨年スイス・チューリッヒを訪れた際、クロアチア人の友人との語らいを通じて始まりました。翌日､彼との会話を思い出し､近くの教会を訪れてみると、ちょうどミサが始まりました。

観光のつもりで立ち寄った私でしたが、その静かな祈りの空間に不思議な安らぎを覚え、心が引き寄せられるようでした。帰国後、その思いを胸に大宮教会の門を叩いたのが、信仰の第一歩でした。

洗礼名「レオポルト」は、友人と同じクロアチア出身の聖人、聖レオポルト・マンディッチに由来しています。彼は障害を抱えながらも、一日に何時間も告解を聞き続け、多くの人に主の慈しみを伝えた方です。また、分裂続く東欧に生まれ育った彼は、分裂したキリスト教の一致のためにも尽力されたと聞いています。

私もその名に恥じぬよう、信仰を通して和解と共生を大切にしながら歩んでいきたいと願っています。

これから先の人生においても、与えられた恵みに感謝しつつ、出会いや日々の出来事を大切にしながら、キリストに倣い、愛と平和のうちに歩んでいけますよう努めてまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

永妻

洗礼式は、自分にとって新しいスタートになりました。

神様とつながれたことが嬉しくて、これからの人生に希望がわいてきました。

信仰を通して、もっと優しく強い自分になっていけたらいいなと思います。

これまで支えてくださった皆様、ありがとうございます。これからも、ご指導よろしくお願いいたします。

都築

✝　サモア～主に呼ばれて　（39）✝

いよいよ 12 月が近づいてきて、一時帰国まで指折りになりました。12 月 6 日の金曜日で学校は終わりです。

皆さんによく日付を覚えていますねと言われますが、学期の始まりは月曜日、終わりは金曜日なので昔のカレンダーを見れば、いつ始まって、いつ終わったのかはすぐにわかります。昔のカレンダーもインターネットで調べればすぐに出てきます。

ボランティアのほとんどは次の土曜日か日曜日に出国することにしていたと思います。ところが巨大なサイクロンの影響で、飛行機が飛ばなくなってしまいました。記憶があいまいなので、いつ風雨が強くなったか分からないのですが、6 日金曜日にはもう雨も風も強くなっていたと思います。金曜日の夕方のラジオで土曜日の飛行機は欠航が決まったことを知りました。土曜日に帰国するボランティアは残念がっていました。

私は、日本の台風のようにすぐに通り過ぎるだろうと思い、楽観して日曜日に出発できるのではとその時点では期待していました。ところが風雨は強さを増すばかり。一向に天気は回復しません。いつの間にか停電も発生し、ボランティアハウスでは食事もままならないのと、建物も心配ということで、私たち男性のボランティアも修道院に泊めてもらうことになりました。

日本に帰るためにまとめていた荷物を窓際に置いておいたのですが、サモアはルーバー窓という細い板ガラスを組み合わせた窓で、日本のもののように、しっかり締まるわけではないので、隙間から雨が入ってきて荷物はびしょびしょになってしまいました。もちろん中に入れていた服もびしょびしょです。

日曜日になっても風雨は収まらず、月曜日も引き続き雨。火曜日にはようやく晴れてきました。サイクロンは 4 日間サモアの周りをぐるぐる回っていたようです。南太平洋を襲った史上最強のサイクロンとのことで、名前はバル（Val）という名前がつけられました。

サイクロンが通り過ぎて、台風一過、いい天気になりました。村の様子を見に行くと、道路には巨大な木が倒れていました。その木は幹回りが 2m 以上もある大きな木でした。もちろん電柱も倒れていますが、電柱の方はすぐに村の人たちが片付けていました。

空港も滑走路が浸水してしまったとかで、飛行機も飛べません。翌水曜日頃にニュージーランド空軍の飛行機が支援物資を載せて飛んできました。木曜日か金曜日には航空会社も運行を再開。最初に飛んでいったのは、サモアの航空会社です。私も首都に行って、航空券の再手配と佳美に状況を伝える電話をしました。当時は修道院でも電話を引いていたのですが、村の分局から内線のようにしているので、電話がよく聞こえません。ですから、電話したいときはいつも首都の郵便局に出かけて、そこからかけるようにしていました。

飛行機の手配もすみ、いよいよ出発できるようになりました。とりあえずサモアからニュージーランドのオークランドまで行って、1 泊して翌日の飛行機に乗ります。当初は同日乗り継ぎの予定だったのですが、臨時便になり変更になってしまいました。

空港に行くと、ジャンボジェット機が飛んできました。サモアの飛行場にジャンボジェット機が飛んでくることは普段はないので、びっくりしました。1 週間に 3 便就航しているので、その分の乗客を乗せる必要があるからでしょうか。サモアを昼過ぎに出発して、日付変更線を越えてオークランドに着いたのは、夜の 8 時すぎくらいだったと思います。修道会のシスターに迎えに来てもらい、修道院に連れて行ってもらいました。こういうときにシスターに会うのは便利ですね。まったく初めてでどういうシスターかわからなくても、修道会の制服で見分けがつきます。迎えに来てくださったのは、Sr. Natalie(シスター　ナタリー)という方でした。この方は私が日本からサモアに戻るときも空港との間の送迎をしてくださいました。クリスマスカードのやり取りをして、一度だけニュージーランドに会いに行ったことがあります。その後も何度かクリスマスカードのやり取りはあったのですが、なかなか来ないことがあって、しばらくしてから他のシスターから亡くなったと、お手紙をいただきました。

翌日の朝、空港に送ってもらい一路日本へ。

見沼区　齊藤

🍀おおみや教会通信はカトリック大宮教会のＨＰ（https://catholic-omiya.org）でご覧になれます。

＊ご意見や投稿（本などの感想、特集してほしいことなど）を募集しています。

FAX か郵送で受け付けています

〒330-0803　さいたま市大宮区高鼻町２丁目３５０　FAX 048－641－2724

カトリック大宮教会　広報部宛

＊おおみや教会通信　6 月号は 6/15 発行予定、原稿締め切り 6/1